

さんぶ野菜ネットワークの事務局
長・下山久信さん(右)は、メンバ
ーからも就農希望者からも頼りに
される存在です。

30年にわたり農薬や化学肥料に頼らず、
野菜を育て続ける
さんぶ野菜ネットワーク(千葉県山武市)。
10年前、新規就農制度を始めました。
その種は今、確実に芽吹いています。

下山さん、
僕、有機でやります。



2019年6月に独立して農家デビューする大倉功さん。購入した土地を、天地返しで通気性・排水性がよく、微生物が棲みやすい土壌にしている真っ最中でもあります。



1 ブロッコリーの収穫や人参の洗浄など、“師匠”の修弘さんのもとにかく実践。
2 緑肥として育てているライ麦。土に混ぜ込むことで病害虫を抑制します。



師弟制度で有機の畑を広げる

野菜ネットワークです。1988年、29名の農家で山武農協内の有機部会として発足させ、2005年に独立。現在は、50名の農家が農薬や化学肥料に頼らず、年間約60品目の野菜を育て、その畑を広げました。

「今、メンバーのうち、70歳過ぎの5人、60歳過ぎの5人には後継者がいないんだよ。日本全体を見ても、基幹的農業従事者(仕事として普段、主に農業に従事する者)の数は、この3年間で30万人以上減少している^{*}。農地の面積も減っていて、耕作放棄地は増えている。山武市内の耕作放棄地もこれから増えていくと思うよ。有機農業どころか、農業そのものや地域のコミュニティがなくなる。

「危機感が足りないんだよ」

温暖な気候と首都圏という立地から、農業が盛んな千葉県。太平洋を望む真っ直ぐな海岸線・九十九里浜のほぼ真ん中に位置する山武市にあるのが、人参をはじめレタスやほうれんそうなど、年間を通じて大地を守る会に野菜を出荷しているさんぶ

「そこで、増えている新規就農者が

温帯な気候と首都圏という立地から、農業が盛んな千葉県。太平洋を望む真っ直ぐな海岸線・九十九里浜のほぼ真ん中に位置する山武市にあるのが、人参をはじめレタスやほうれんそうなど、年間を通じて大地を守る会に野菜を出荷しているさんぶ

温帯な気候と首都圏という立地から、農業が盛んな千葉県。太平洋を望む真っ直ぐな海岸線・九十九里浜のほぼ真ん中に位置する山武市にあるのが、人参をはじめレタスやほうれんそうなど、年間を通じて大地を守る会に野菜を出荷しているさんぶ

温帯な気候と首都圏という立地から、農業が盛んな千葉県。太平洋を望む真っ直ぐな海岸線・九十九里浜のほぼ真ん中に位置する山武市にあるのが、人参をはじめレタスやほうれんそうなど、年間を通じて大地を守る会に野菜を出荷しているさんぶ

温帯な気候と首都圏という立地から、農業が盛んな千葉県。太平洋を望む真っ直ぐな海岸線・九十九里浜のほぼ真ん中に位置する山武市にあるのが、人参をはじめレタスやほうれんそうなど、年間を通じて大地を守る会に野菜を出荷しているさんぶ



未来への想いも込めて
人参 800g

1021
800g 398円 (税込430円)

※異なる産地のものが届く場合があります。
※小さいもの、一部傷のあるものをお届けする場合があります。
また、洗い人参でお届けする場合があります。
※同時配布のカタログ『タッチオーネ』108号も合わせてご覧ください。



3 洗浄機「ヒカ1」で、さらに「びかびか」になった収穫したての人参。
4 下山さんファミリーは息子・修弘さん(右)、息子の妻・幸恵さんとひ孫の藍くん(右から2番目)、孫の紗希さん(左)と4世代まで元気です。
5 不揃いの人参は、ジュースなど加工品の材料になります。
6 「アトピーで食事療法をやったことがきっかけ」で食に関心を持った江波戸康裕さん(右)。バックパッカーでの旅を経て、「キレイだけど個性がない作物より、個性のある生き生きとした作物を作る有機農業がかっこいい」と思った妻・澄子さん。
7 小さい時からみんなと野菜と一緒にです。
8 新規のメンバーの畑を見て回る下山さんも、「大きく立派に育ってる」と嬉しそう。

「土作りから出荷までとにかく実践で、体で覚える感じです。修弘さんは法人化して複数のメンバーでやっているの、チームでやる農業も教えてもらっています。独立したらまず人参やトマトなどを育てて、天候不順のためにハウス栽培にも取り組みたいんです」。医療関係の家族が多く、「だったら病気になる前から予防する食を作っちゃおう」と決心した大倉さんは、すでに独立後のことを具体的に描いています。『師匠』

の修弘さんは、「他ではあまり実践させてくれないところもあるけれど、うちは注意すべき点くらいを伝えて、『できなくても考えてやってみて』って。自立した時にやらないといけないからね。大倉くんは真面目でビジョンもあるし、3〜4年したら軌道に乗るんじゃないかな」。最初は手探りで新規就農制度を始めた父の

キモだと考えて、10年前から新規就農制度を始めたんだよ」。農制度を始めたら、大倉さんを力強く、また温かく見守ります。車で少し移動したところにある畑で人参を収穫するのは、就農8年目の江波戸康裕さん。「畑・作業小屋・家がセットの物件をさんぶ野菜ネットワークに紹介してもらいました」。

と、その新規就農者1号である修弘さんは、自らの経験から、大倉さんを力強く、また温かく見守ります。車で少し移動したところにある畑で人参を収穫するのは、就農8年目の江波戸康裕さん。「畑・作業小屋・家がセットの物件をさんぶ野菜ネットワークに紹介してもらいました」。

プロッコリーを収穫したかと思えば、収穫し終えた人参を洗うなど、テキパキと仕事を進めるのは大倉功さん。メンバーで下山さんの息子・修弘さんのもとで、研修生として農業を行っています。さんぶ野菜ネットワークの新規就農制度は、2年または4年、「師匠」となるメンバーのもと、一緒に農業に取り組んだのちに独立するというものです。大倉さんはいよいよ2019年6月に独立して農家デビュー予定。購入した土地で、修弘さんから教わった太陽熱消毒や緑肥の混ぜ込みなどを終え、天地返しで通気性・排水性がよく、微生物が棲みやすい土壌にしている真つ最中でもあります。

「土作りから出荷までとにかく実践で、体で覚える感じです。修弘さんは法人化して複数のメンバーでやっているの、チームでやる農業も教えてもらっています。独立したらまず人参やトマトなどを育てて、天候不順のためにハウス栽培にも取り組みたいんです」。医療関係の家族が多く、「だったら病気になる前から予防する食を作っちゃおう」と決心した大倉さんは、すでに独立後のことを具体的に描いています。『師匠』

さんぶ野菜ネットワークの新規就農制度で、2019年も5名の農家が生まれます。「日本全体で就農する人の3割くらいが有機農業を選んでいると感じる。一方、異常気象や地震で農業生産が困難になっている。でもだからこそ、農業も生き方もつながりが大事。助けてくれるから。1人では生きられないんだよ」。畑を見つめる下山さんは、どこまでも温かい眼差しです。

自然のエネルギーを活用し、食べ物を生み出す生業・有機農業では、これまで担ってきた人とこれから担う人が立ち上がっています。次は、その恵みを私たちが食べつないでいく番です。

でもだからこそ
づながり

※ 農林水産省2018年「農業労働力に関する統計」参考

イベント

大人も子どもも一緒に収穫！春の産地交流会 春の三浦・大根収穫祭 2019.3.24(日) 11:30~14:00

三浦半島の西岸、遠くに海が一望できる広い畑での大根収穫体験です。迎えてくれるのは、大根やキャベツの生産者でおなじみ黒崎研究会(神奈川県三浦市)の皆さん。大きな大根も意外と簡単にすぼんと抜けて、子どもたちもにっこり。収穫後は、黒崎研究会のお母さんたちが作った大根汁で身も心も温まりましょう。大根をいっぱい抜いて、収穫のお手伝いをしてみませんか？

DATA
会場…… 黒崎研究会の大根畑(神奈川県三浦市)
 ※京浜急行久里浜線「三崎口駅」より徒歩20分
 ※現地集合・解散です。
駐車場…なし
参加費…大人(中学生以上)●1,000円、
 子ども(3歳以上)●500円、3歳未満●無料
 ※大人3本、子ども1本の大根をお持ち帰りいただけます。
定員…… 150名
申込…… 3月8日(金)まで
主催…… 大地を守る会 ソーシャルコミュニケーション部
 ※お持ち帰りの大根は、現地からご希望の場所へ宅急便で送ることができます(有料)。

- 1 生産者と一緒に畑仕事。前半はお持ち帰り用、後半は出荷用を収穫します。
- 2 とれたての大根がたっぷり入った大根汁。
- 3 一人でできて、達成感あり！



チョコ好きの大人からお子さんまで “古代風チョコレート”を作ってみよう！ 2019.3.16(土) 10:00~12:00

紀元前1000年頃、カカオの原産地の中南米でカカオ豆をすりつぶしたものが食され、その後、ヨーロッパに運ばれて今日私たちが知る形になったチョコレート。インドネシア・パプア州で小規模生産者の皆さんがいていねいに育てたカカオを使い、少しビターな仕上がりの“古代風チョコレート”を手作りします。カカオの産地とフェアトレードのお話も聞けます。さあ、奥深いチョコレートの世界へ。

DATA
会場…… オイシックス・ラ・大地
 Osaki Kitchen Studio(品川区)
 ※JR「大崎駅」南改札口より徒歩5分
講師…… オルター・トレード・ジャパンのスタッフ
参加費… 500円 ※材料費を含みます。
定員…… 18名
申込…… 2月27日(水)まで
主催…… 大地を守る会
 ソーシャルコミュニケーション部



- 1 チョコレートの原料はカカオの種「カカオ豆」。
- 2 カカオの産地・パプアのお話も聞けます。
- 3 ほろ苦くも香り高い“古代風チョコレート”作りにみんなで挑戦。



身近な自然、意外な発見！ 都会の自然観察会 in 神代植物公園 2019.3.10(日) 10:30~14:30

毎回好評をいただいている「都会の自然観察会」。今回は東京都調布市にある神代植物公園を歩きます。この時期は、ツバキの品種群が色とりどりの花を咲かせています。博学多識な講師からの、植物の生態や植物園の歴史、動植物にまつわる文化などのお話もお楽しみに。

DATA
会場…… 神代植物公園(調布市)
 ※京王線「調布駅」よりバス20分
 ※現地集合・解散です。
駐車場…あり(有料)
講師…… 樹木医・石井誠治さん
参加費… 大人(中学生以上)●500円、
 子ども(小学生以下)●無料
 ※入園料は別となります。
定員…… 20名
申込…… 2月27日(水)まで
主催…… 大地を守る会
 森と木の住まいづくりフォーラム



この時期はさまざまな品種のツバキが咲いています。

海外支援の裏方作業をしてみませんか？ 古着の仕分けを体験してみよう！ 2019.3.30(土)10:00~13:30

大地を守る会の会員の方にお送りいただいた古着はパキスタンに送られ、現地で販売された売上はスラムの学校の運営資金に充てられています。今回は、パキスタンに送る前の古着の選別作業を行います。海外支援の活動報告と昼食のパキスタンカレー付き。

DATA
会場…… NPO法人JFSAの倉庫(千葉県千葉市)
 ※JR「千葉駅」東口よりバス15分
 ※現地集合・解散です。
駐車場…あり(無料)
講師…… NPO法人JFSAのスタッフ
参加費… 無料
定員…… 8名
申込…… 2月22日(金)まで
主催…… 大地を守る会
 ソーシャルコミュニケーション部

※汚れてもよい服装でご参加ください。



- 1 届いたたくさんの古着をみんなで選別していきます。
- 2 昼食はパキスタンカレーです。



お申込みはWEB
または右記申込書を
注文書と一緒に
ご提出ください

大地を守る会 イベント 検索



お問合せ

オイシックス・ラ・大地
 ソーシャルコミュニケーション部
 TEL●050-5306-8513
 E-mail●csr@member.daichi.or.jp

注意事項

当社は、大地を守る会のイベント及び大地を守る会が告知する他団体のイベントにお申込みいただく際、ご記入いただく個人情報をお申込み内容に関する確認、参加者への連絡、抽選、抽選結果連絡、お問合せに対する回答、非常時に関する対応、イベントの質向上管理のために利用させていただきます。なお当社は、イベント等を旅行業者に業務委託する場合があります。この場合、個人情報を開示することがあります。業務委託にあたっては、個人情報の保護に関する契約を締結し、業務委託先が契約を遵守するよう必要かつ適切な管理及び監督を行います。上記に同意の上お申込みください。個人情報の取扱いに関するその他の条件については、当社ウェブサイトの個人情報保護方針をご確認ください。
<https://takuha.daichi-m.co.jp/information/8>



発行 オイシックス・ラ・大地株式会社
 東京都品川区大崎1-11-2
 ゲートシティ大崎イーストタワー5階
 TEL 050-5306-8513

2019年2月号 イベント参加申込書

ソーシャルコミュニケーション部行

イベント名				参加人数	会員番号			
				人				
参加者の氏名	性別	学年・年齢	アレルギーの有無	参加者の氏名	性別	学年・年齢	アレルギーの有無	
メールアドレス(事前連絡が可能で添付ファイルが受信可能なもの)				携帯電話番号(当日連絡が可能なもの)				

*ご家族の場合、代表者の分のみをご記入ください。

備考(会員として登録された「住所」と異なる方がいらっしゃる場合はその方の住所、他連絡事項がある場合はその旨をご記入ください。)

*複数のイベントにお申込みされる場合や記入しきれない場合は、「連絡便」などに必要事項を明記の上、ご提出ください。